

施設
分離型

グローバルな子どもたちの育成をめざして

小中一貫教育を 推進します

問い合わせ
教育指導グループ ☎366-0011

現代社会がグローバル化・多様化する中、子どもたちが、グローバルな力(グローバルな視点・経験・能力を持って、地域社会や地域経済の活性化、持続的発展に貢献する力)を養うことが求められています。

市では、グローバルな視点を持ちながら、自分たちの地域の良さや課題を理解し、地域や世界で活躍できる人材を

育てるため、小学校と中学校の「たてのつながり」、また、地域と学校が一体となって子どもを育てる「よこのつながり」を強化し、小・中学校でカリキュラムを一体化する「小中一貫教育」を推進します。

今回は、現在実施している小中一貫教育の取り組みと、将来的に実施する取り組みを紹介します。

✓小中一貫教育って？

小学校と中学校がめざす子ども像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成して、系統的教育をめざします。

✓グローバルって？

グローバル(英語力の向上) + ローカル(地域学習の充実)から生まれた造語です。

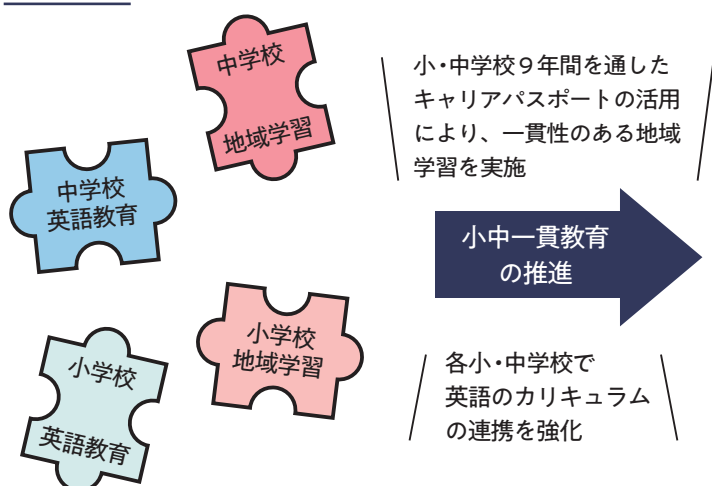
✓施設分離型って？

小学校と中学校の校舎が隣接しておらず、異なる敷地に別々に設置されている施設形態です。

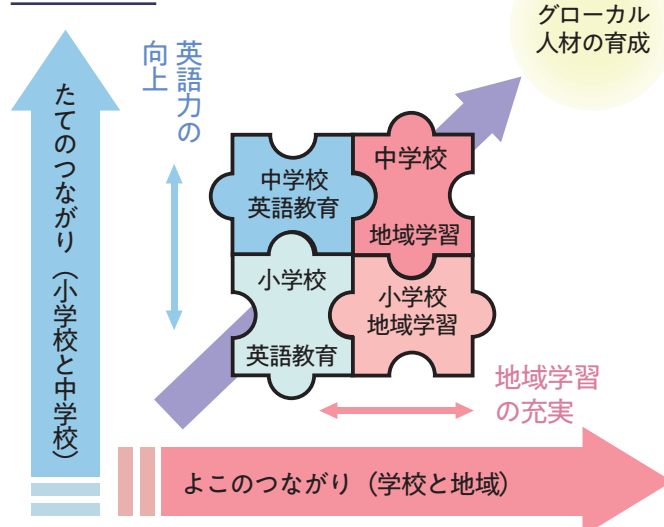
✓グローバル人材を育てるために具体的に何をするの？

市では、「英語力の向上」と「地域学習の充実」を2つの大きな柱とし、様々な取り組みを展開しています。2つの活動をより一層推進するために、小・中学校間の連携をより深め、連続性のある教育を進めていきます。

今まで



これから



英語力の向上 ～世界で活躍できる力を育てる～

現在の取り組み

《小学校》●英語専科の教員が授業 ●外国語活動には3・4年生はアシスタントティーチャー、5・6年生はALTが参加

《中学校》●スコア型4技能テスト

《小・中学校の連携》●小・中学校の教員間の授業参観・研究 ●校区での授業中の交流 ●中学生が英語授業の一環で小学生へ部活動を紹介



これからの取り組み

《小学校》●5・6年生にデジタル教材「BASE in OSAKA」の導入・・・自分の発音に対してAIが判定し、発音レベル向上のためのヒントや評価ができるほか、英検の模擬試験や面接練習、中学校版では過去の入試問題などを体験

《中学校》●全学年にデジタル教材「BASE in OSAKA」の導入

《小・中学校の連携》●中学校のALTが小学校の授業に参加 ●中学校で実施しているプレゼンテーションコンテストの対象を小学生～高校生に拡大予定 ●英語教育のカリキュラムを作成



地域学習の充実 ～地域の良さを理解する～

現在の取り組み

《小学校》●昔遊び体験 ●三都まつりの開催 ●さやま音頭体験 ●大野ぶどう体験 ●ぼん菓子体験 ●田植え体験

《中学校》●ブラさやま(地域内の防災対策などを調べながらフィールドワーク) ●ワクワクフェスティバル(11・12月ごろに学校のグラウンドや体育館を使用し、地域の行事として開催)

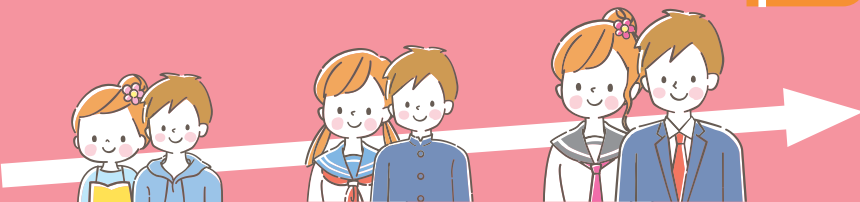


これからの取り組み

《小・中学校の連携》●今年度から教育課程特例校に・・・教育課程特例校として、総合的な学習の時間(小学1・2年生は生活科)の10時間を「地域未来の学習」の時間に充て、体系的な教育に取り組みます。たとえば小学生のときにまち探検で訪問したお店に、中学生になって職業体験に行くことで、様々な視点から学ぶことができます

●キャリアパスポートの活用・・・キャリアパスポートとは、小学校～高等学校の地域学習などの特別活動を中心として、活動の様子を子ども自身が自分のファイルに記録を積み重ねて、将来のキャリア形成の見通しを立てるものです

キャリアパスポート



まるごとパックで学校をのぞいてみませんか

対象 各中学校区に住んでいる人

市では、各中学校区ごとに授業風景を公開する「まるごとパック」を実施しています。今年度の開催日は次のとおりです。いきいきと学ぶ児童・生徒の様子をぜひご覧ください。詳しくは、各小・中学校に問い合わせてください。

《南中学校区》10月30日(水)/南中学校 ☎365-7200

12月6日(金)/南第一小学校 ☎365-3437

《狭山中学校区》12月3日(火)/北小学校 ☎366-0072

《第三中学校区》令和7年2月7日(金)/第七小学校 ☎366-0033